

林産物利用

教 科	農 業 科	単 位 数	2 単 位	学 科 ・ 学 年	森林科学科・3年（選択）
使用教科書	林産物利用（実教出版）				
副教材など	プリント・資料				

科目の概要、到達目標

○林産業の現状と動向を理解し、再生産可能な森林資源の有効活用の意義と役割について考えます。
 ○木材の特性を理解し、木材パルプの製造、洋紙の製造、和紙の製造行程を実験・実習を通して理解します。
 また、合板などの木質材料、木炭及びバイオマスの変換利用に関する知識技術を習得し、木材の多様な利用を図る力を身に付けます。

学習計画、自己評価

期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	自 己 評 価		
前 期	4	1 森林資源の循環利用と林業・林産業	・林産業の現状と動向	・林産業の現状と動向及び地域における役割を理解するとともに、林産業の課題について考える。	()	
		2 木材の加工と利用	・木材パルプの製造	・木材パルプの製造実験を通して、木材パルプの製造法や用途に関する知識と技術を身に付ける。	()	
	5			・製紙	・木材パルプから洋紙を製造する実験を通して、製紙方法に関する知識と技術を身に付ける。	()
				・和紙の製造	・和紙作りの実験を通して、和紙の特徴や和紙作りに必要な知識と技術を身に付ける。	()
				・接着剤と接着法	・接着剤の種類と特徴を理解し木材の接着に関する知識と技術を身に付ける。	()
	7 8 9			・改良木材の製造	・合板や集成材などの木質材料の種類や規格、製造法に関する知識と技術を身に付ける。	()
	後 期	10	3 特用林産物の生産と加工	・木炭	・木炭の種類や製造法、利用法について理解する。	()
		11		・バイオマスの変換利用	・木材の有効成分の抽出やバイオマスの変換利用の方法について理解する。	()
12		・つる植物の加工		・つる植物の加工を通して、地域に見られる資源を有効利用し、地域を活性化させるための方法について考える。	()	
1					()	
2					()	
3				()		

評価の観点、方法

○観点別評価
 a 知識・技能（技術） b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度
 ○観点別評価の方法
 定期考査、授業での行動観察、提出物（課題プリント・授業ノート）、振り返りシート、パフォーマンステスト、発表などによって、ABCの3段階で評価します。
 ○観点別評価を均等に総括して評定（5段階）を決めます。

定期考査の範囲、課題

前 期	中間考査範囲	
	期末考査範囲	
	夏休みの課題	
後 期	中間考査範囲	
	学年末考査範囲	
	冬休みの課題	